

2018年3月期
決算説明会

2018年5月17日
株式会社ユタカ技研

Ⅰ．2018年3月期 決算概況

Ⅱ．2019年3月期 見通し

Ⅲ．事業状況

2018年3月期

決算概況
＜ IFRS ＞

18年３月期連結決算概況

（単位：億円）

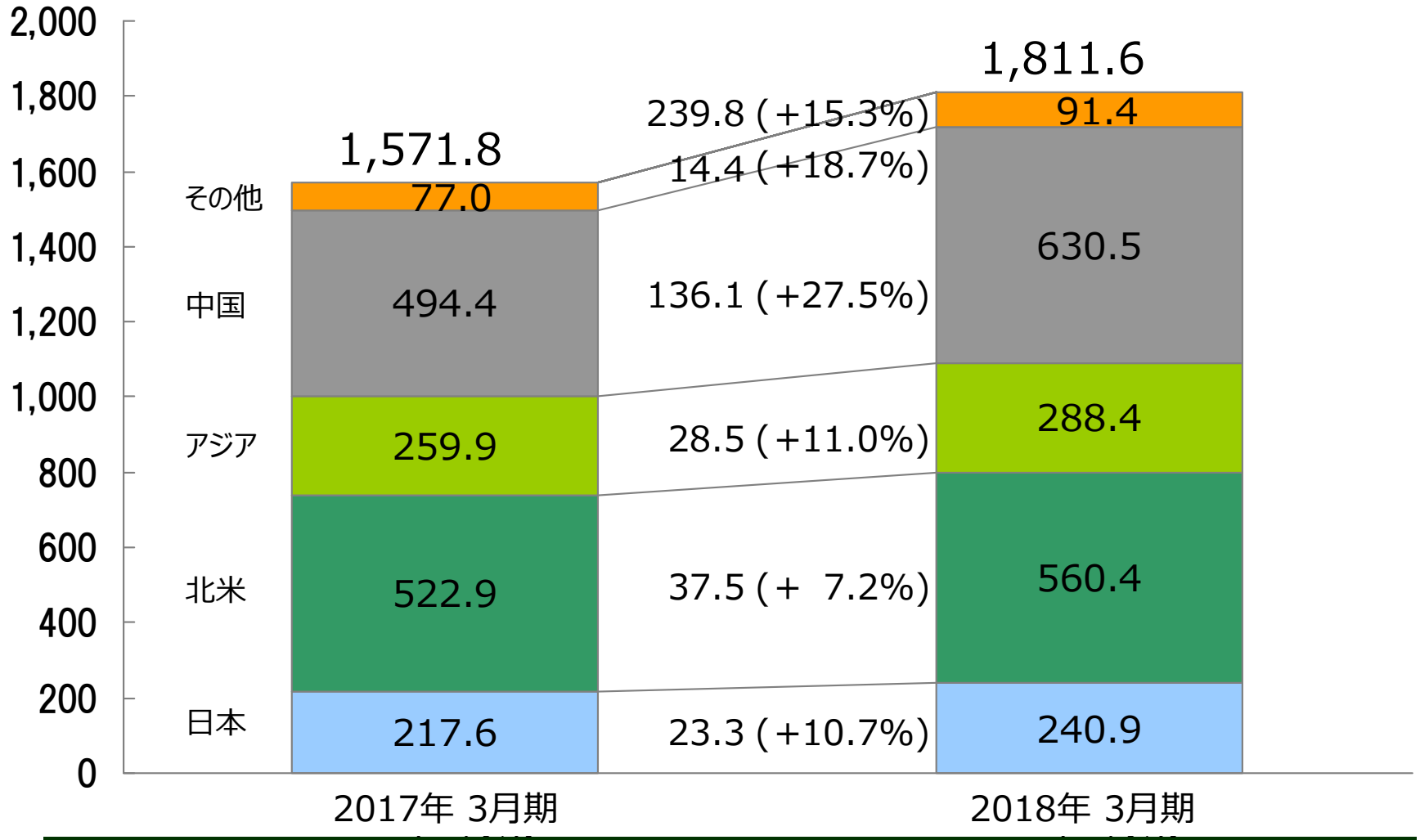
	2017年 3月期	2018年 3月期	増　減
売　上　収　益	1,571.8	1,811.6	15.3%
営　業　利　益	121.0	96.4	△20.3%
税 引 前 利 益	113.4	96.9	△14.5%
当　期　利　益	71.9	49.5	△31.3%
親会社の所有者に帰属する当期利益	54.5	30.1	△44.9%
基本的１株当たり当　期　利　益	368.09円	202.85円	△165.24円
１株当たり配当金	60.00円 ＊中間 30円，期末 30円	62.00円 ＊中間 31円，期末 31円	2.00円
	($1=¥108)	($1=¥111)	

減損損失計上のため、前期に対し増収ながら減益

18年３月期連結決算概況 地域別売上収益

（単位：億円）

（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）

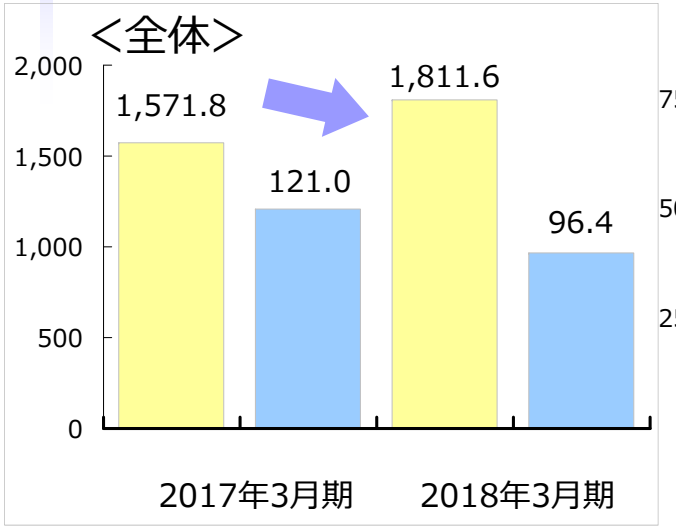


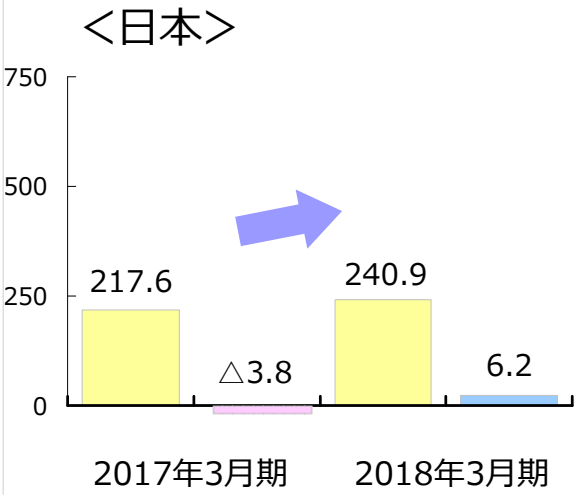
中国を主とし、すべての地域で増収

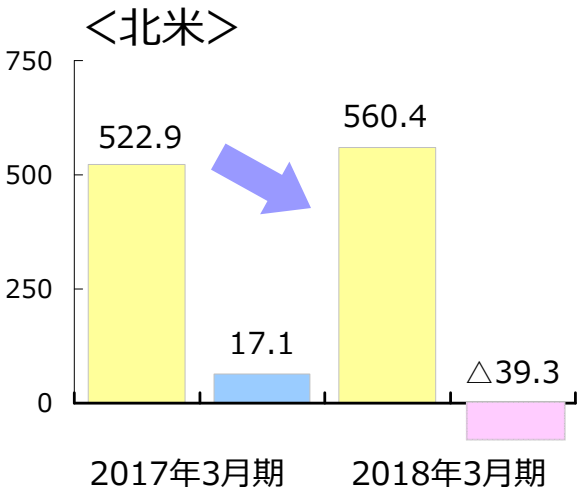
18年３月期連結決算概況 地域別営業利益

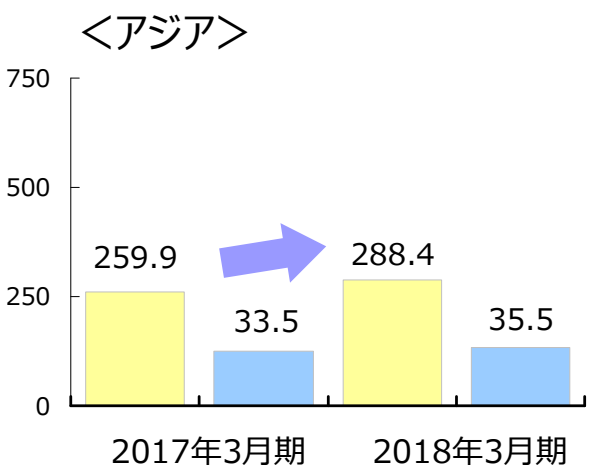
(単位：億円)

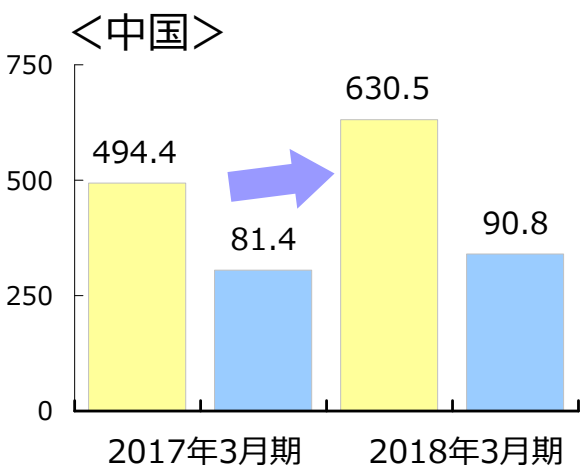
売上収益　利益増減
営業利益　営業損失

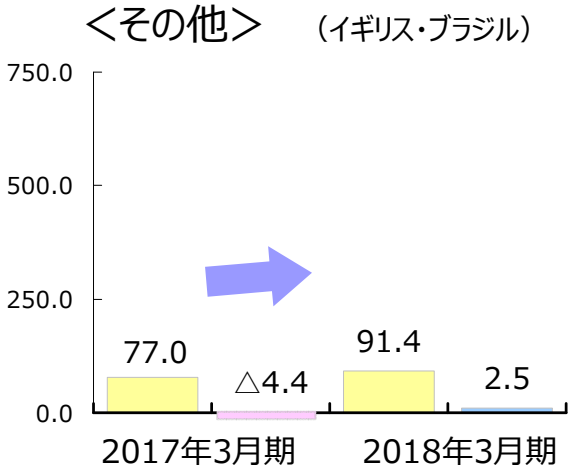








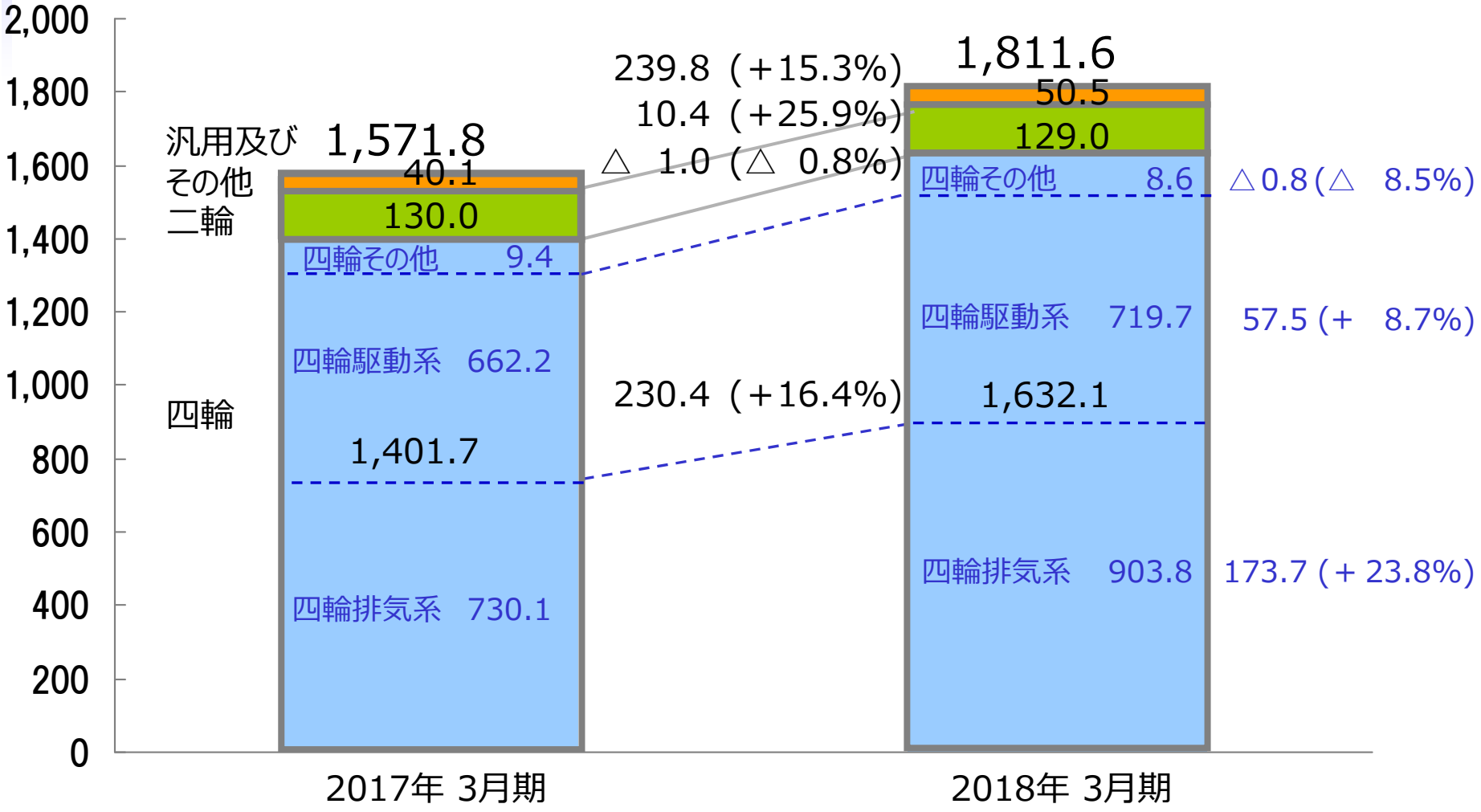




北米で減損損失計上のため減益、他の全地域で増益

18年３月期連結決算概況 製品別売上収益

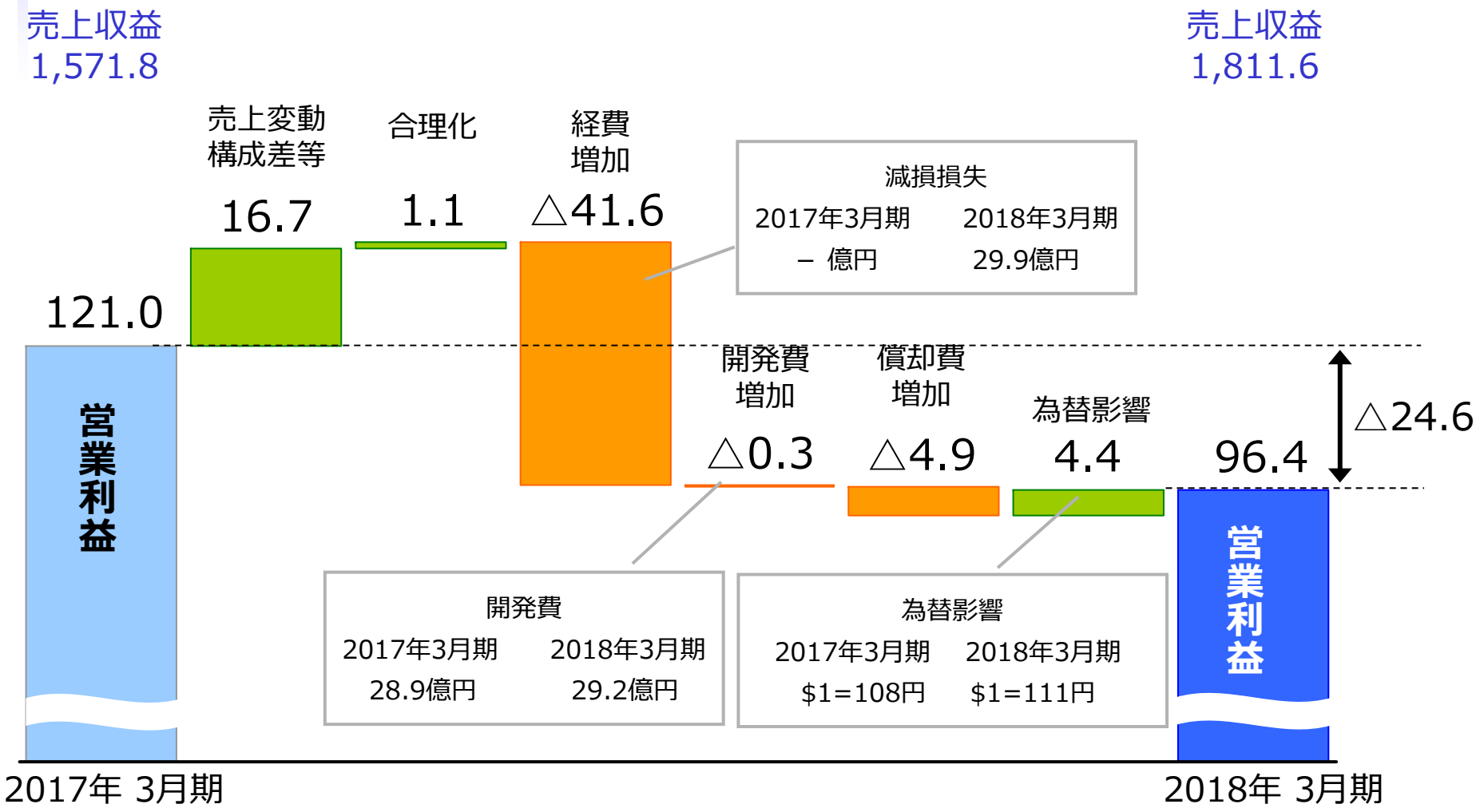
（単位：億円）



主に四輪事業で増収

18年３月期連結決算概況 営業利益 増減要因

（単位：億円）



売上増効果があったものの、経費負担増や減損損失影響があり減益

米国連結子会社の固定資産減損損失計上

発生事象の内容

当社の北米連結子会社（カーディントン・ユタカ・テクノロジーズ・インコーポレーテッド）が保有する固定資産について、収益性が低下したことに伴い減損の兆候が認められたことから将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し当該減少額を減損損失として計上いたしました。

連結損益に与えた影響額

2018年３月期の連結決算において、減損損失として29億９千９百万円を売上原価として計上いたしました。

今後の取り組み

カーディントン・ユタカ・テクノロジーズ・インコーポレーテッドの収益体質を早急に改善すべく、体制・組織の見直しを実施しグループ全体として強力に体質改善を推し進めてまいります。

2019年3月期
見通し
＜ IFRS ＞

19年３月期連結見通し

（単位：億円）

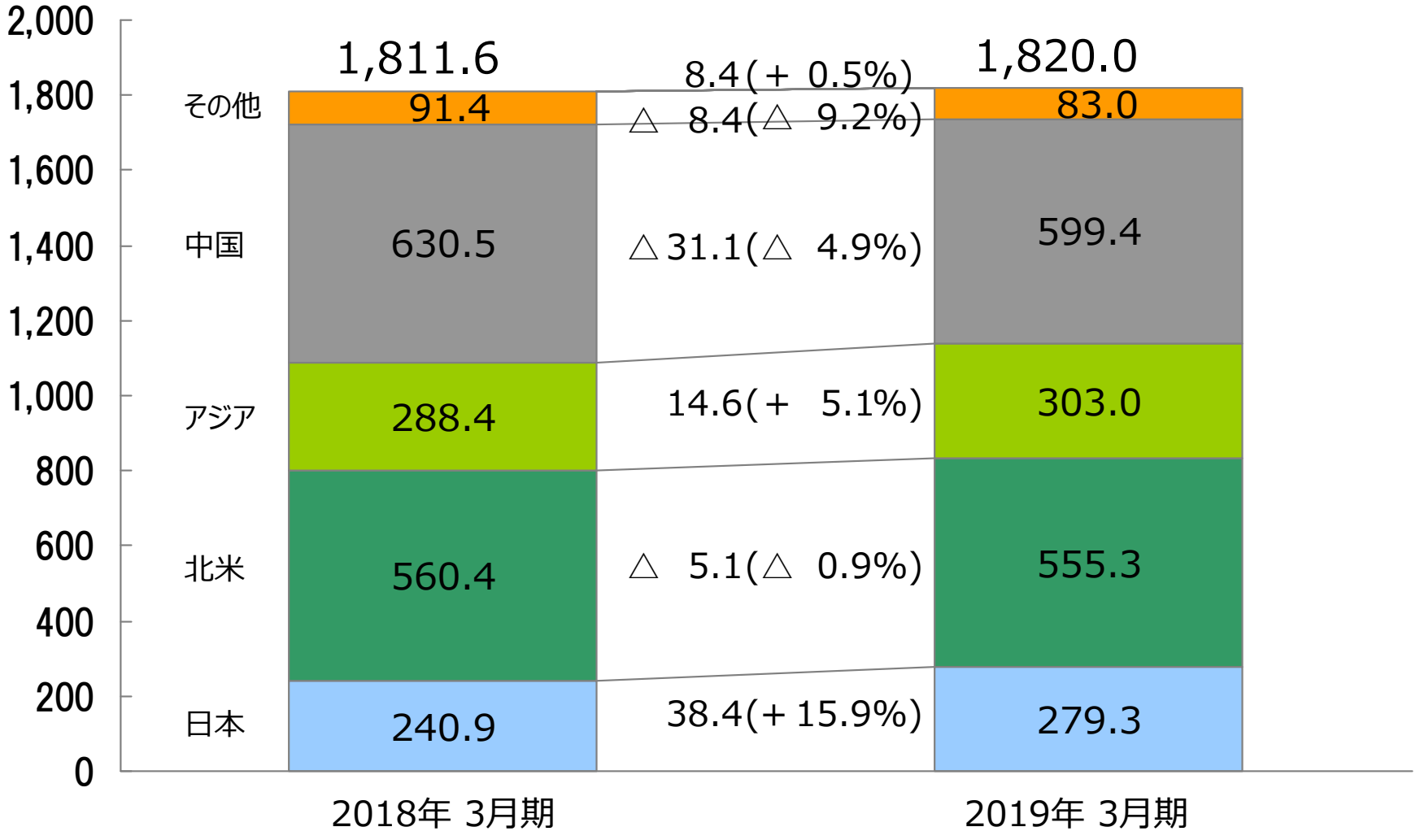
	2018年 3月期	2019年 3月期	増　減
売　上　収　益	1,811.6	1,820.0	0.5%
営　業　利　益	96.4	123.0	27.5%
税 引 前 利 益	96.9	125.0	29.0%
当　期　利　益	49.5	80.0	61.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	30.1	63.0	109.6%
基本的１株当たり当　期　利　益	202.85円	425.15円	222.30円
１株当たり配当金	62.00円 ＊中間 31円，期末 31円	72.00円 ＊中間 36円，期末 36円	10.00円
	($1=¥111)	($1=¥107)	

顧客からの受注増加や合理化効果に加え減損影響がなくなり増収増益

19年３月期連結見通し 地域別売上収益

（単位：億円）

（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）

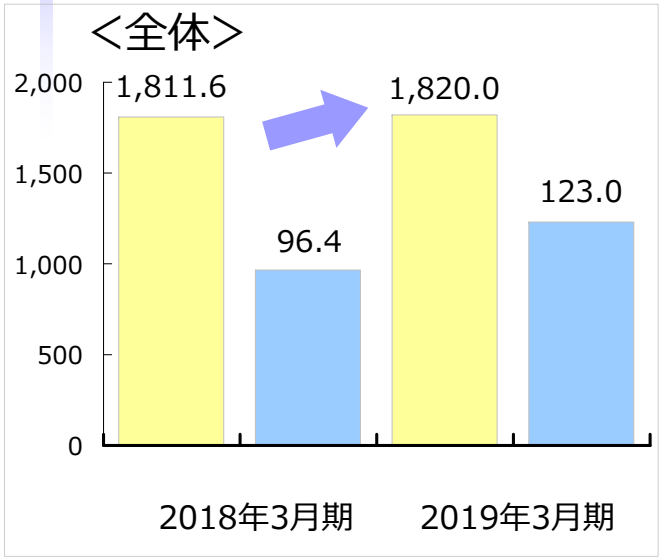


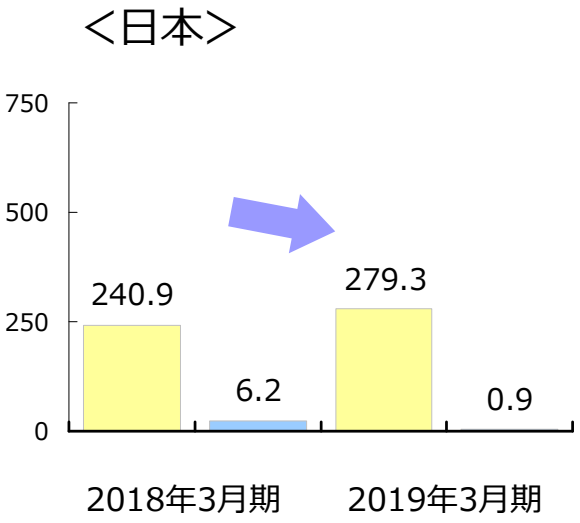
日本･アジア地域で増収の見通し

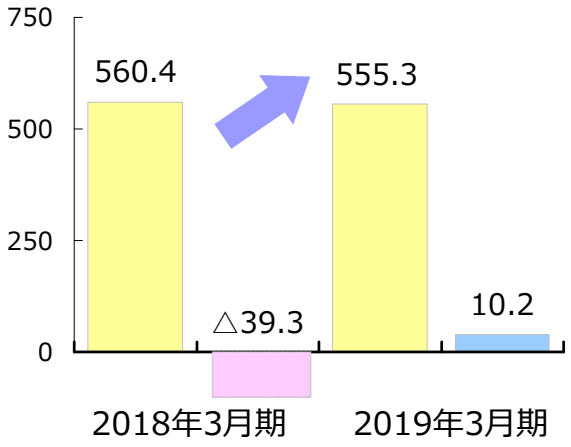
19年３月期連結見通し 地域別営業利益

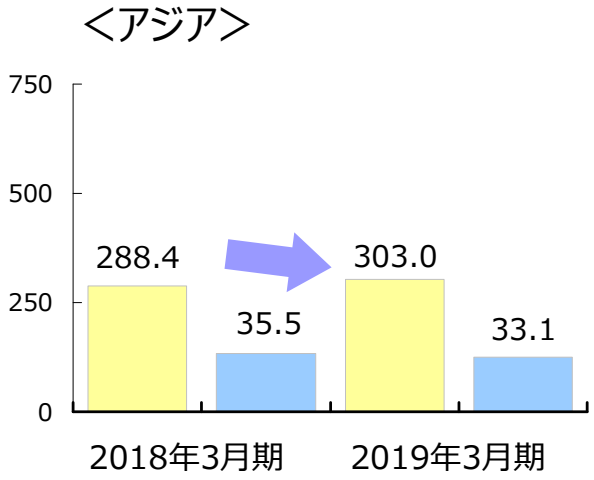
(単位：億円)

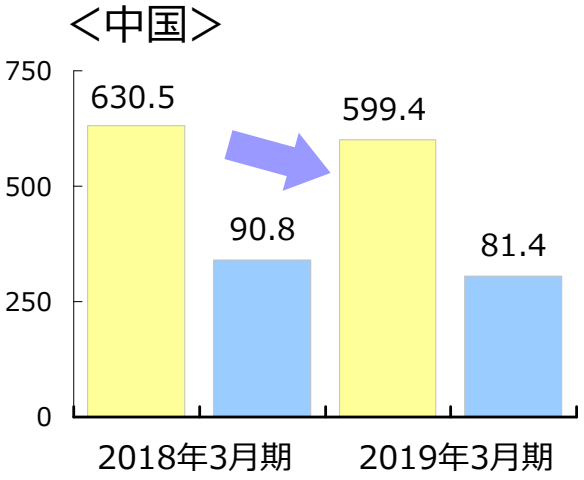
売上収益　利益増減
営業利益　営業損失

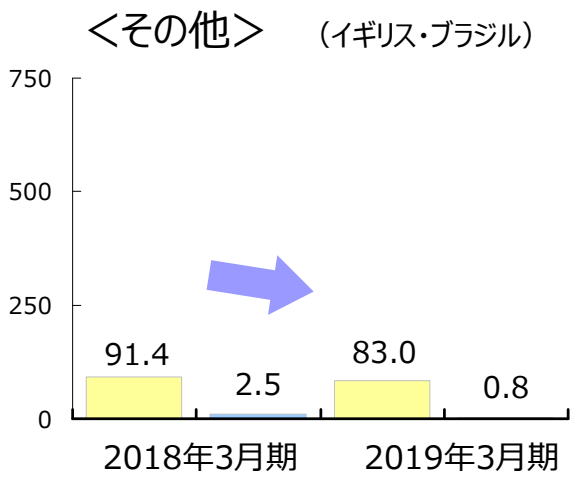








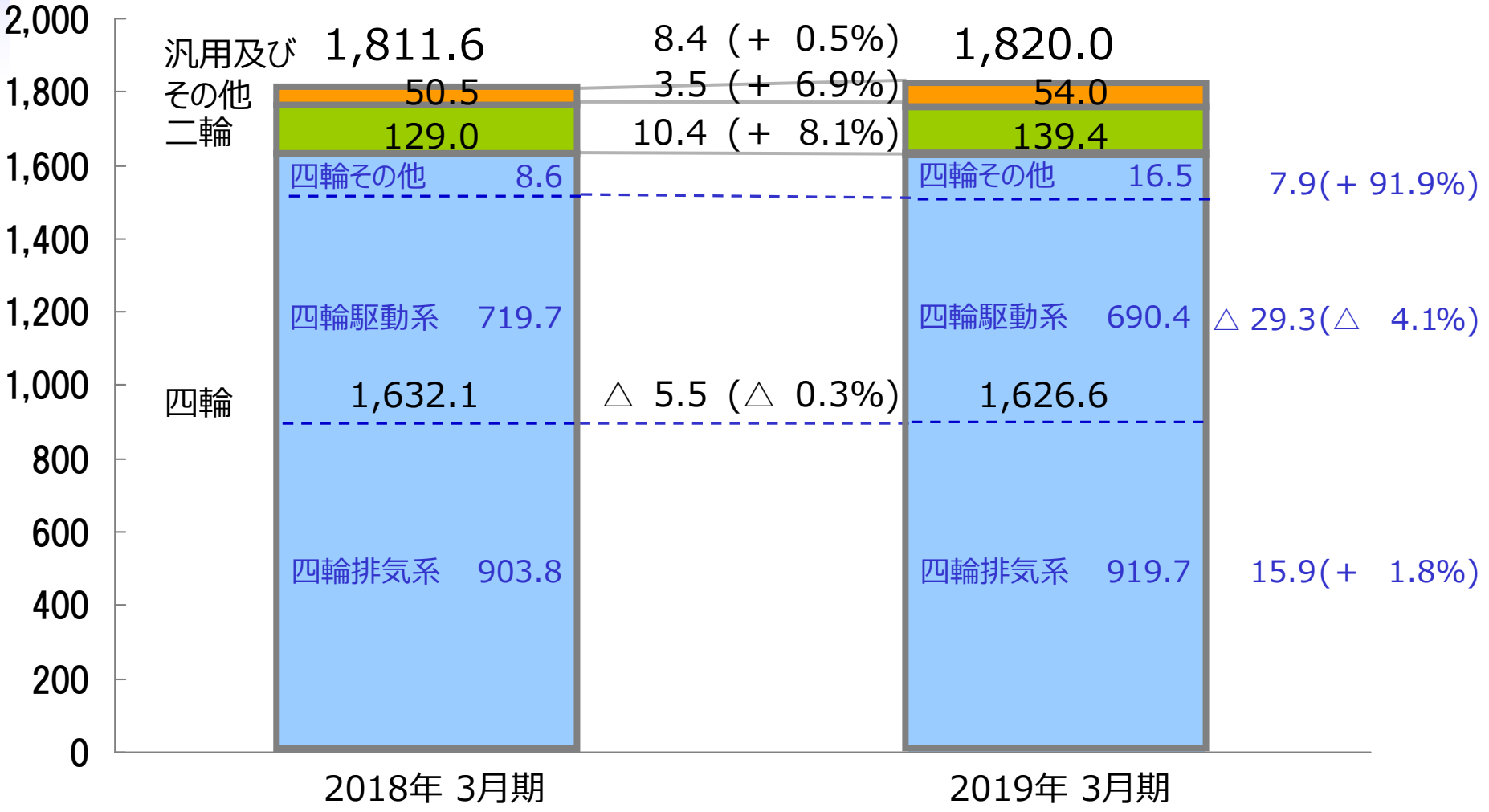




日本・アジア・中国で減益となるものの、北米は減損影響がなくなり増益

19年３月期連結見通し 製品別売上収益

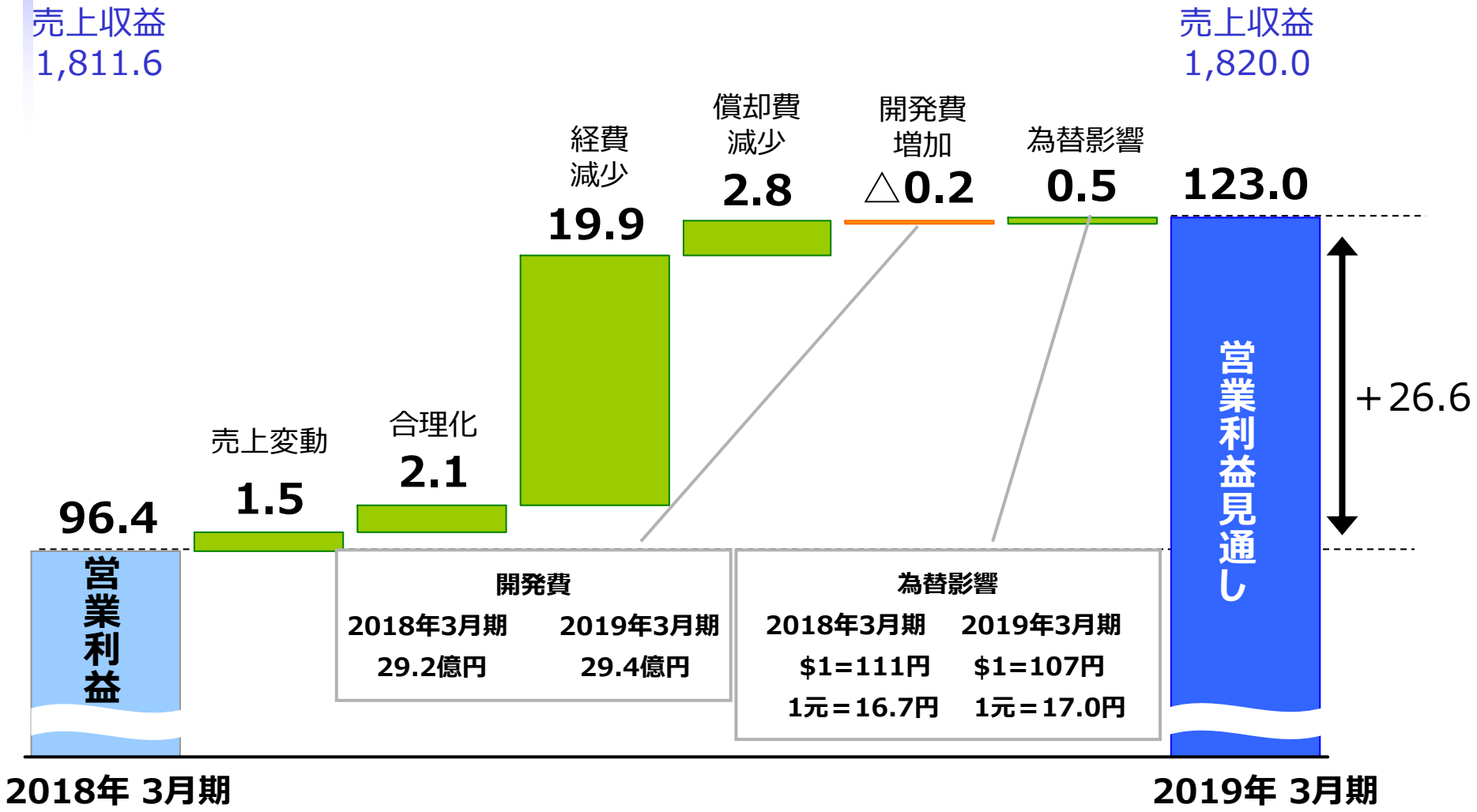
（単位：億円）



四輪で減収となるが、二輪、汎用及びその他増収となり全体で増収見通し

19年３月期連結見通し 営業利益 増減要因

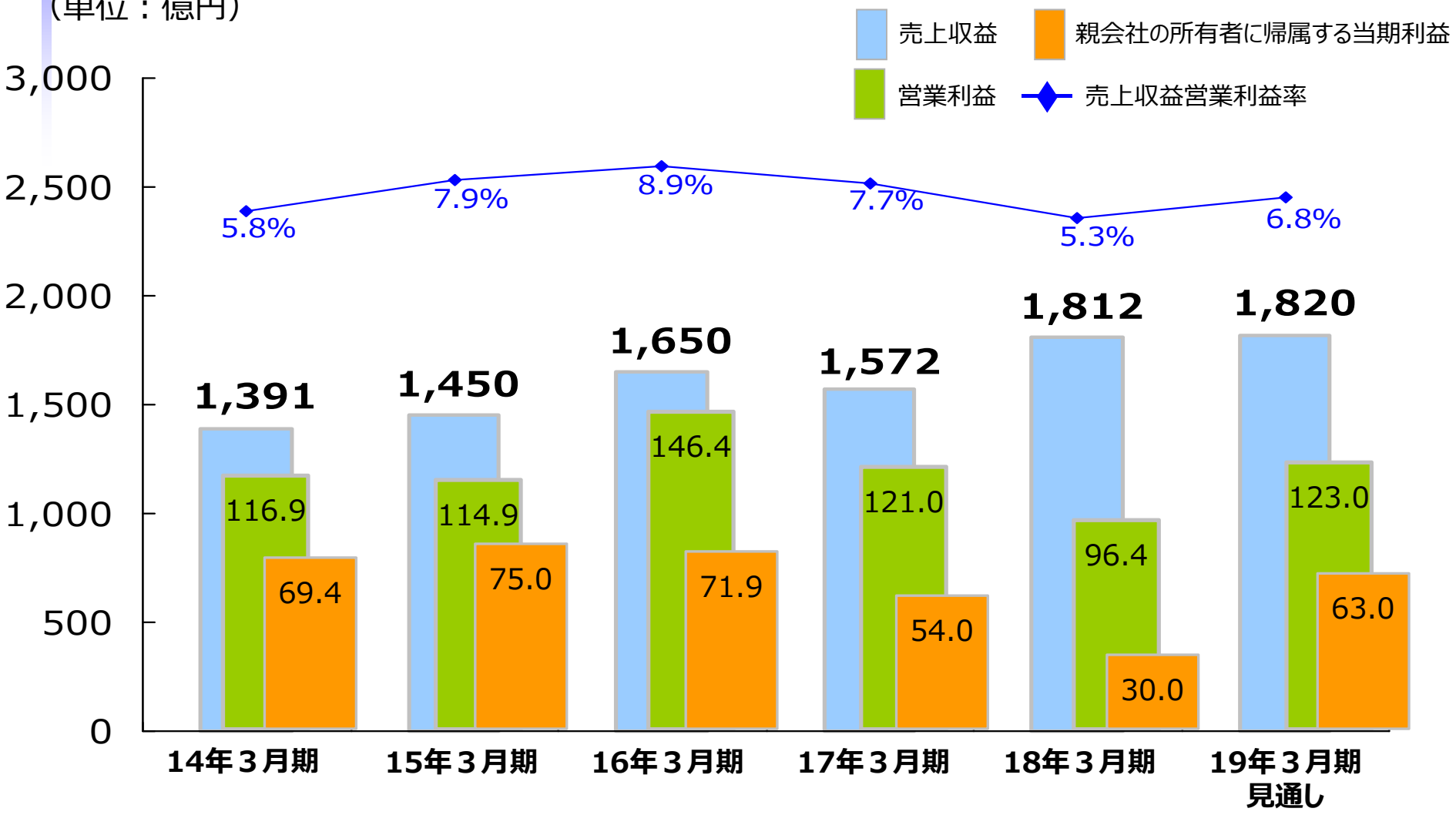
(単位：億円)



合理化効果に加え減損損失の影響がなくなり、増益見通し

19年３月期連結見通し 売上収益及び利益の推移

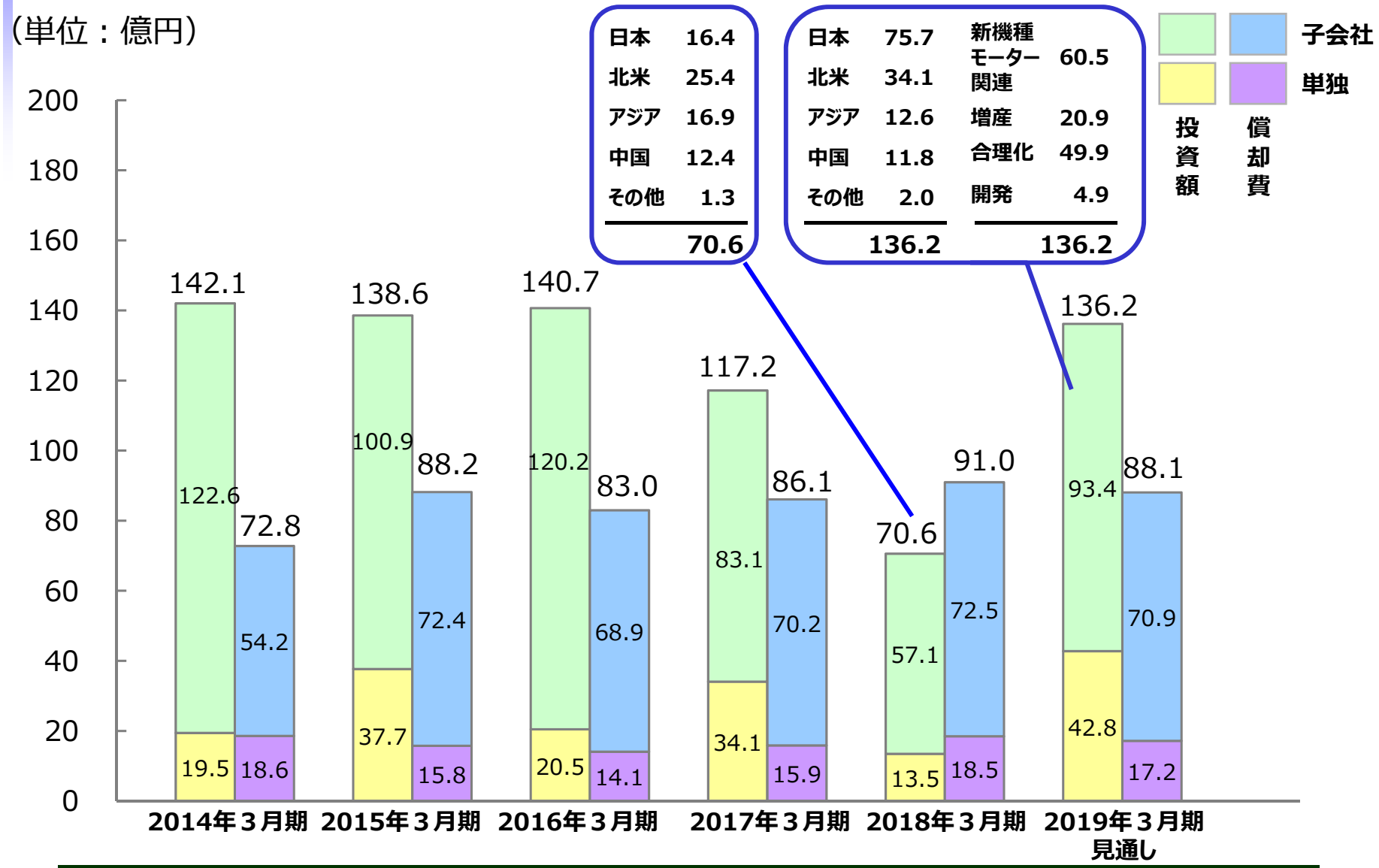
（単位：億円）



19年３月期は17年３月期と同等の利益水準になる見通し

19年３月期連結見通し 設備投資額の推移

(単位：億円)



新機種･モーター関連向投資や合理化投資増加見通し

事業状況

Yutaka新製品のご紹介

新開発　Honda CIVIC TYPE-RにYutaka新開発サイレンサー搭載

トリプルエキゾーストシステム





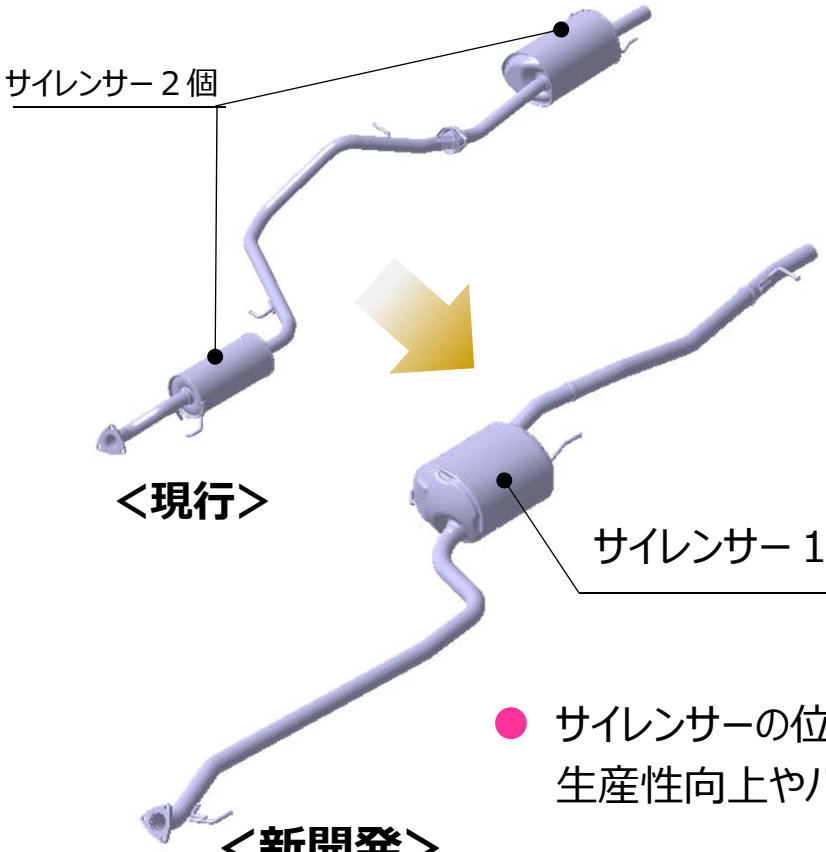
採用車種：Honda CIVIC TYPE-R（2017年9月発売）

- スポーツ志向で高性能なCIVIC TYPE-Rの特徴的デザインを演出
- 低回転域のダイナミックな排気音と中高回転域の爽快な排気音を提供
- サイレンサーの圧力損失を低減することで圧倒的な高出力エンジンのパワーを最大限に引き出すことに貢献

Yutaka新製品のご紹介

新開発　Honda AMAZEにYutaka新開発サイレンサー搭載

サイレンサー





採用車種：Honda AMAZE（2018年5月発売）

- サイレンサーの位置と容量の最適化により、2個のサイレンサーを統合
  生産性向上やパッケージ効率向上に貢献（サイレンサー総容量▲20% ）

Yutaka新製品のご紹介

YUTAKA Clean for the Future

新製品　17年ぶりのフルモデルチェンジHonda Gold WingにYutakaディスク搭載

FR　ブレーキディスク



- 制動力向上のために大径化し、最適なハブ連結軸数を設定
- ハブはYutaka特許技術のトラス形状を採用し、軽量化を実現



採用車種：Honda Gold Wing
（2018年4月発売）

RR　ブレーキディスク



- ハブの材料をアルミ鋳造品からアルミ板材に変更し、コスト/重量を大幅に削減
- Yutaka初　ABS用パルサーリング付ブレーキディスク

＜ABS＞
Antilock Brake System（アンチロックブレーキシステム）
急ブレーキや滑りやすい路面でのブレーキ操作で車輪のロックによる滑走発生を軽減する装置。

＜パルサーリング＞
車輪の回転を車速としてセンサーに教える役目で格子状の孔を円周に配置したリング状の部品。ABSの構成部品の一つ。


YUTAKA
Clean for the Future